

お待たせしました。

男女共同参画関連書籍約2,000冊閲覧・貸出ができます。

～6階情報サロンオープン～



かごしま県民交流センター6階「情報サロン」が8月オープンしました。当サロンは交流センターの5つの機能（男女共同参画、共生・協働、生涯学習、国際交流、介護の実習・普及）の情報発信の場になっています。県男女共同参画センター所有の約2,000冊の書籍も閲覧いただけ、貸出しもしております。とてもゆったりとした、落ち着いたスペースで皆様にごくまでご利用いただけます。

新しく生まれ変わった交流センターは「親しみ、出会い、交わる…県民のためのオアシス空間をめざして」、県民の皆様をお待ちしています。

(注) 書籍の貸出しには「かごしま県民交流センター情報システム利用者カード」が必要です。カードをお持ちでない方は当日中に作成できますので、身分証明書（運転免許証・健康保険証・学生証等）を持って2階事務室にお越しください。



まわりびと

活躍する鹿児島県男女共同参画地域推進員の紹介

第3回 出水市

鹿児島県男女共同参画
地域推進員制度
平成20年度開始
本年度92名

きらりびと第3回は、出水市の西野和浩さん、西尾久子さん、窪まさ子さんです。3名は市の担当者を含めた毎月1回の打合せ会をベースに、男女共同参画だよりの発行（年3回、市内全戸配布）、女性に対する暴力をなくす運動でのチラシ配布、市条例策定や市民意識調査内容の検討など市男女共同参画関連施策に参画し、積極的に活動しています。そんな3名にお話を伺いました。

◇これまでの活動で思い出に残っていることややりがいを感じたことは？

- ・今では定着した市内中学校7校での出前講座（全中学生が3年間のうちに必ず1回は男女共同参画に関する講座を受講）ですが、最初の頃は学校に直接お願いに行っても、なかなか厳しいものもありました。それでも粘り強くお願いに行き、今では当たり前のように実施できていることは大変感慨深いです。一人で学校にお願いに行ったときなど凄く緊張しました。
- ・数年前ですが、市民を対象にワークショップを行いました。参加者の「気づき」が嬉しかったです。
- ・年3回、色々な意見を出し合いながら、男女共同参画だよりを発行していることです。カラーで発行するのが夢です(笑)。

◇地域推進員として苦労することは？

- ・長年、地道に取り組んできましたが、急に大きく「変わる」、「変える」ことは難しいと感じます。
- ・県や市全体では、各分野での女性の役員等への登用は推進されてきていますが、自治会の中で女性役員がなかなか定着しないと思っています。

◇他の推進員の皆さんに伝えたいことは？

- ・「今居る場所で『居る』だけで良い」、この言葉を胸に安心して活動に取り組んでいます。
- ・ひとりではできないことも、市の担当者と推進員で打合せを行うことで進めることができます。
- ・成長しない自分に悩むこともありますが、「自分にできることを自分のペースでよい」という先輩の言葉を励みに頑張りましょう。
- ・打合せ会では、男女共同参画に関する素朴な疑問を皆で出し合い、考えています。答えがでないことも多いですが、それがまた楽しみです。

取材中、市の担当者も含め4人が終始笑顔で、楽しそうに語ってくださったのが印象的でした。ご苦労もあると思いますが、苦勞を楽しみ、やりがいに変えて活動されていることを強く感じました。これからもよろしくお願いいたします。



左から：推進員の窪さん、西野さん、西尾さん、市担当の駒壽さん



サポーター's コーナー



委嘱式にて
左から：洲上さん、田平さん、福壽館長、坂本さん、神宮さん

4月15日(土)に今年度のサポーター委嘱式があり、当日は男女共同参画センターサポーター4名の方が出席され、かごしま県民交流センターの福壽館長より委嘱状が交付されました。昨年度までの3名に新たに1名加わり、講座の準備受付や事業の啓発活動、また毎月の定例会では啓発グッズ「つばやき木」を作成される等、男女共同参画推進に積極的に御協力いただいています。

また、託児サポーターには4名の方が委嘱されており、交流センター内で開催される講座等イベント時に子育て中の方々が安心して参加いただくために、御協力いただきます。

サポーターの皆さん、よろしくお願いいたします。



28年度作成「つばやき木」